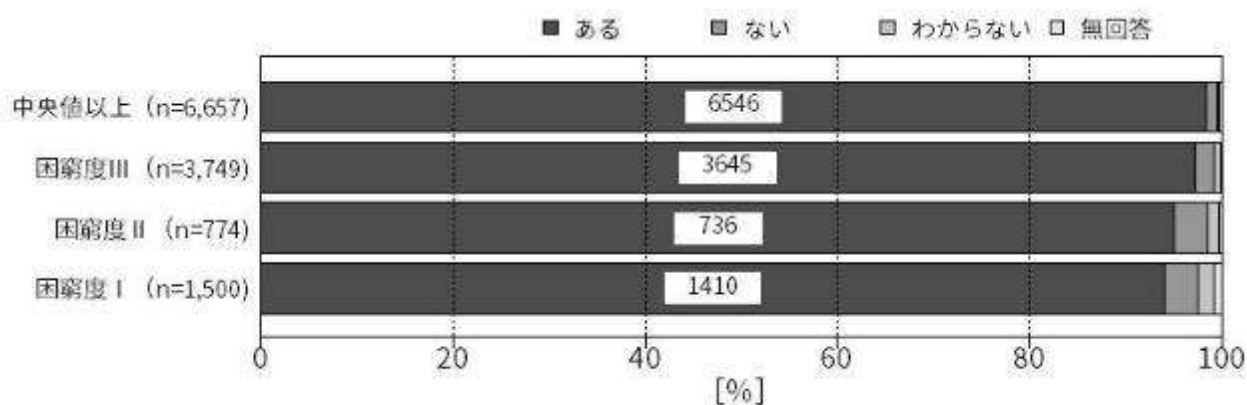


困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

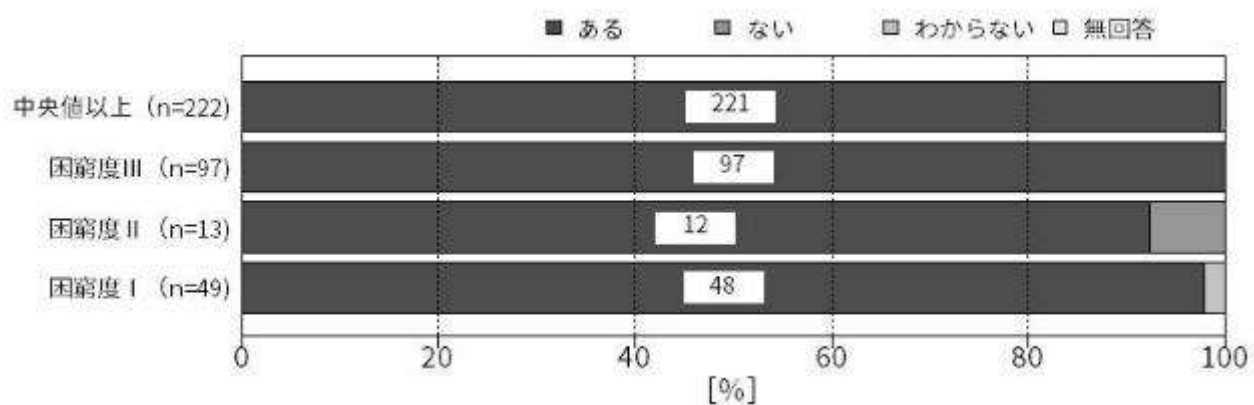


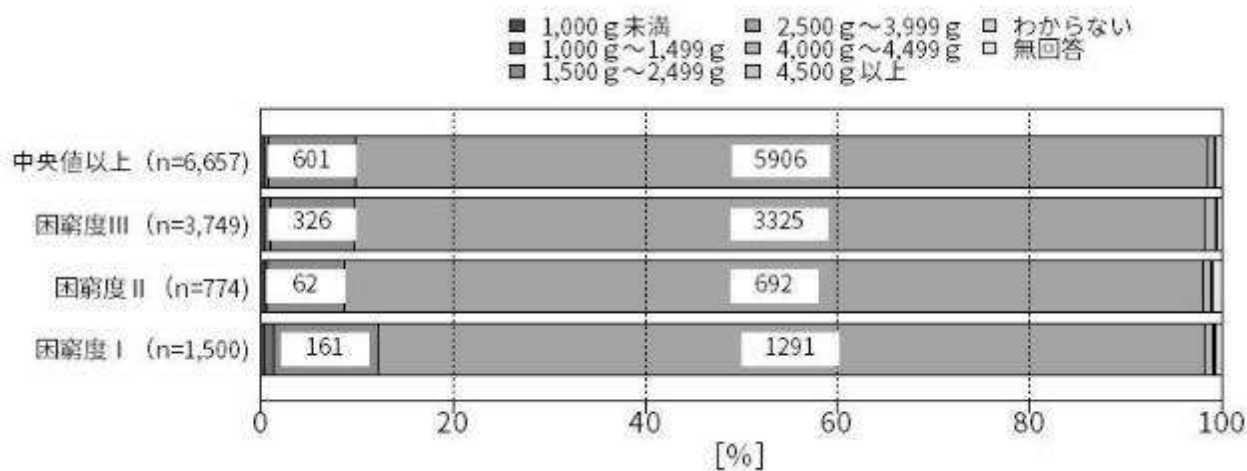
図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあり、98.0%、残り 2%は「わからない」と回答していた。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

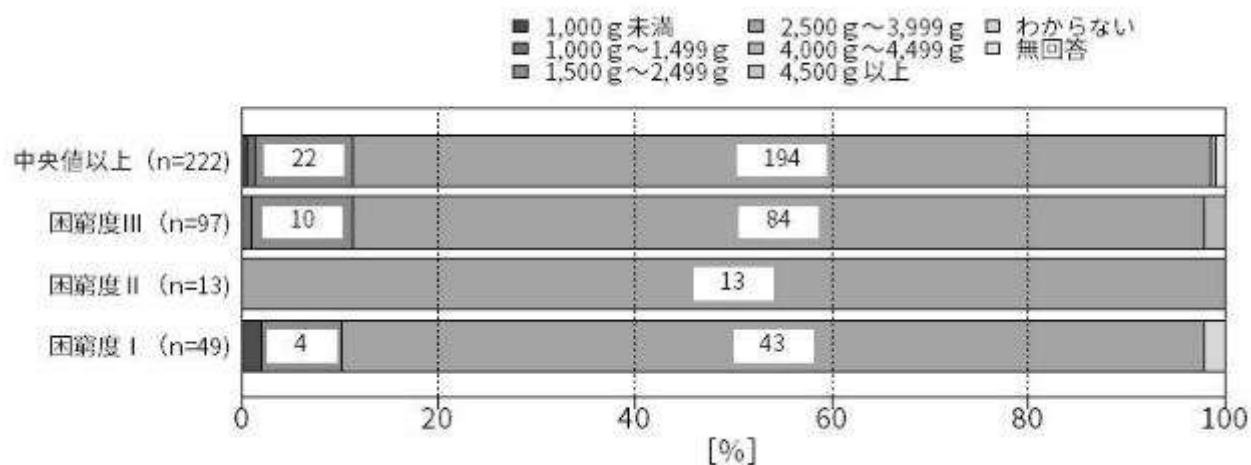


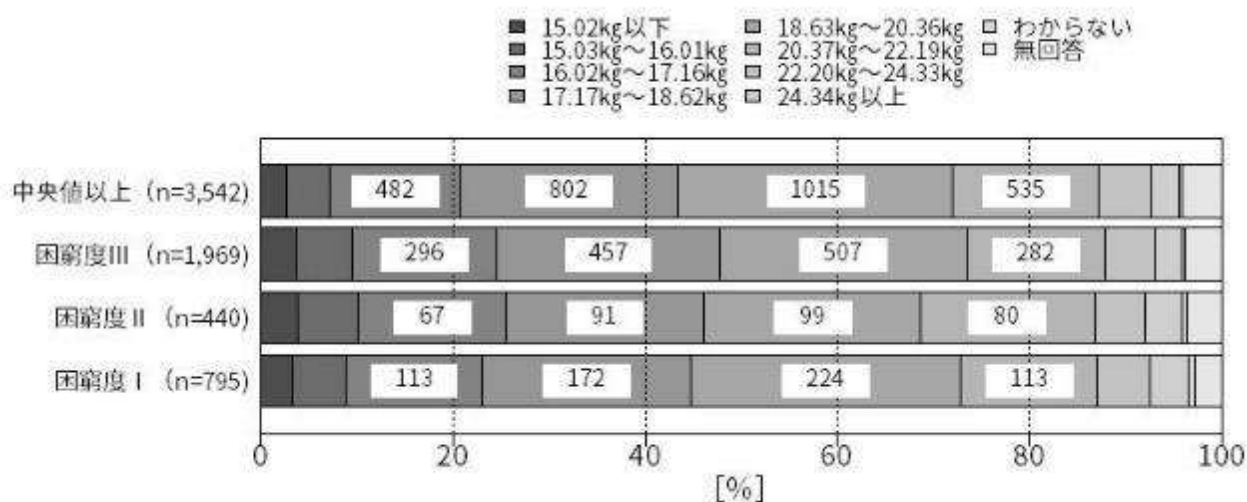
図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群において「1,000 g ～ 1,499 g」「1,500 g ～ 2,499 g」と回答した割合は合計 8.2%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

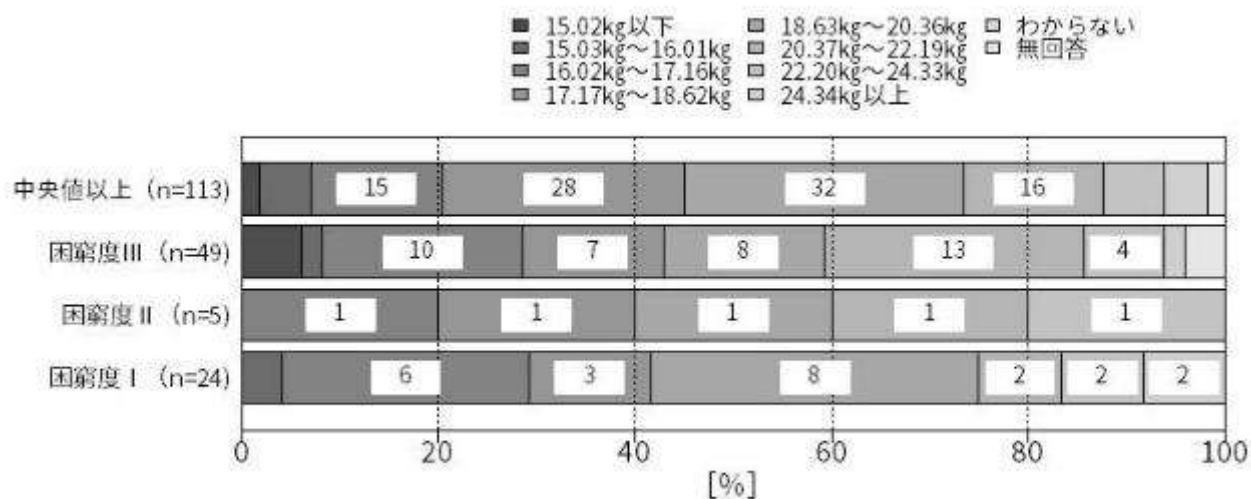


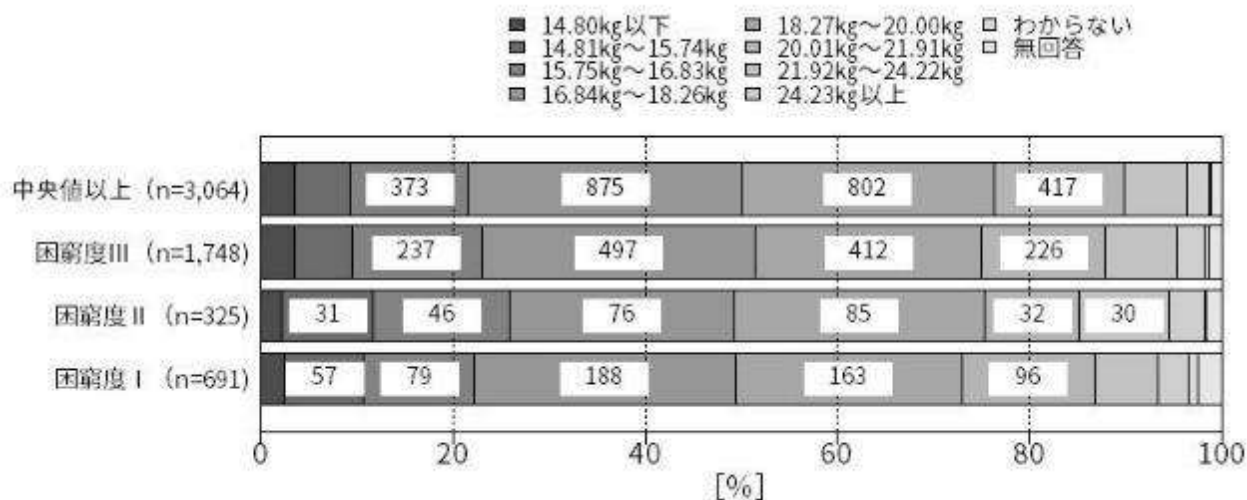
図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

中央値以上群・困窮度Ⅰ群では「18.63 kg～20.36 kg」という回答が最も多く、困窮度Ⅲ群では「20.37 kg～22.19 kg」という回答が最も多かった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

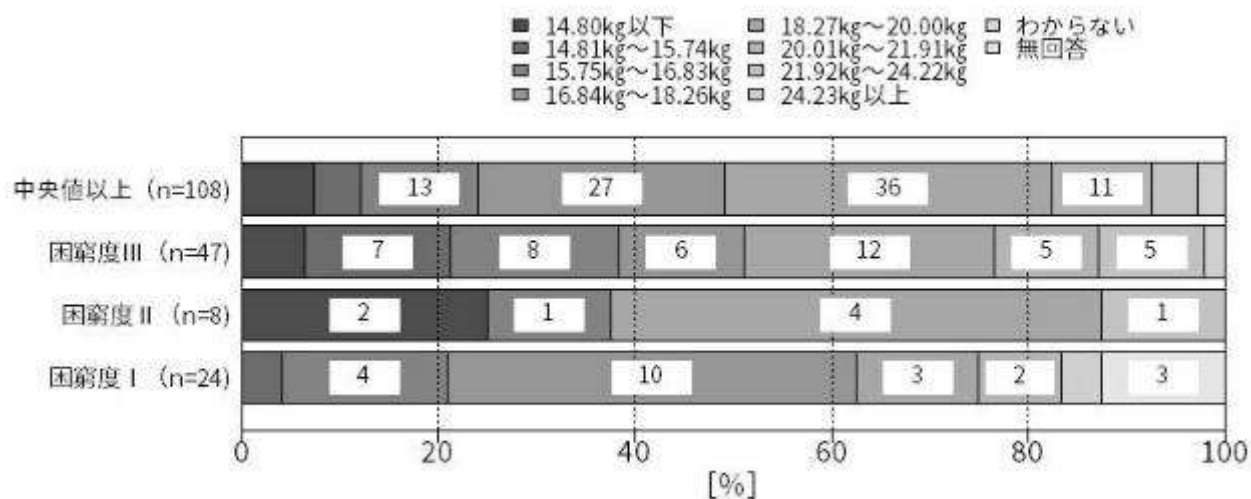


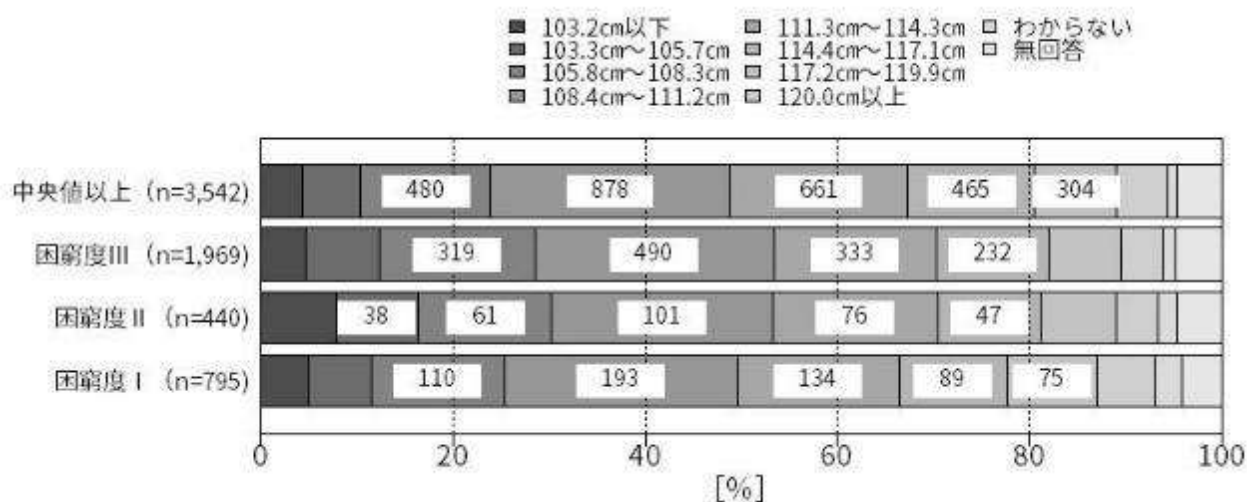
図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

中央値以上群・困窮度Ⅲ群では「18.27 kg～20.00 kg」という回答が最も多く、困窮度Ⅰ群では「16.84 kg～18.26 kg」という回答が最も多かった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

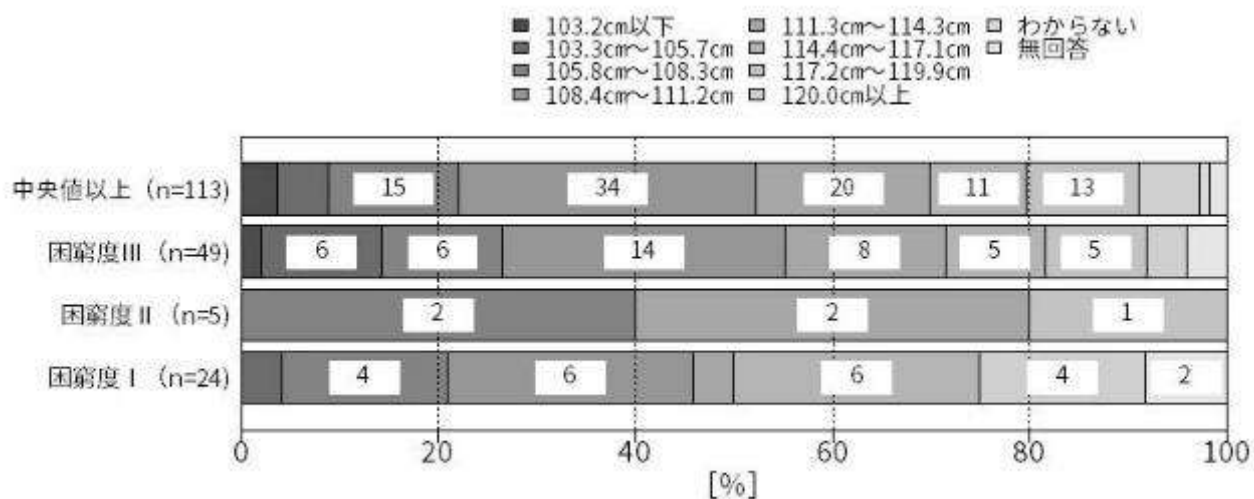
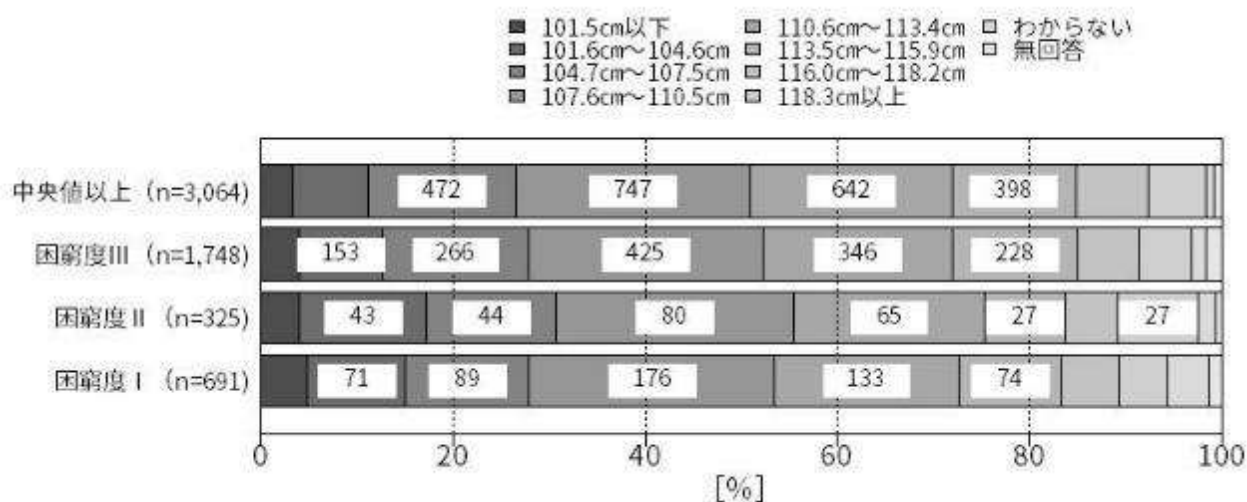


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
困窮度と現在の身長（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市西区＞

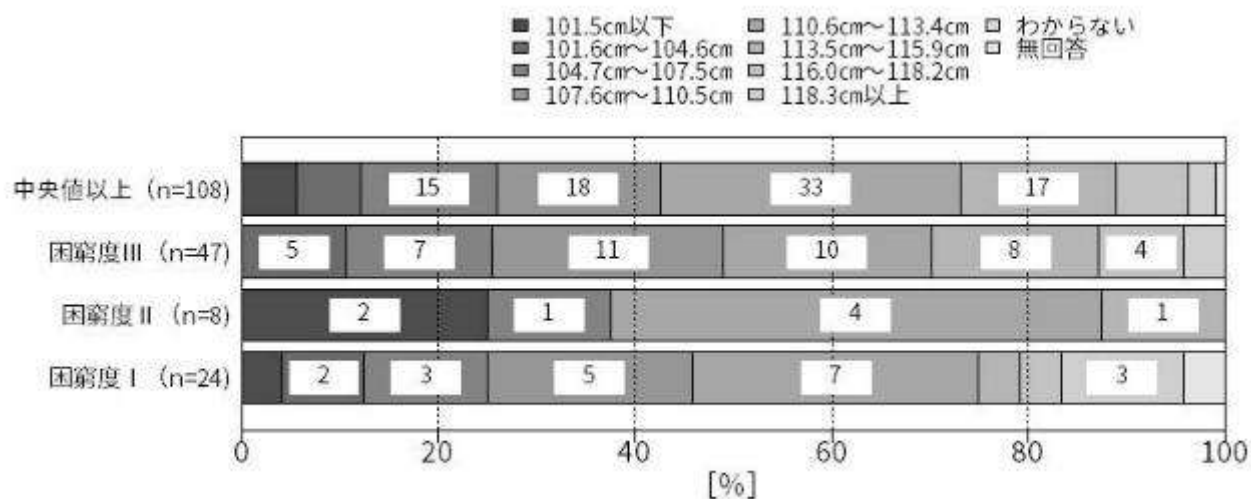
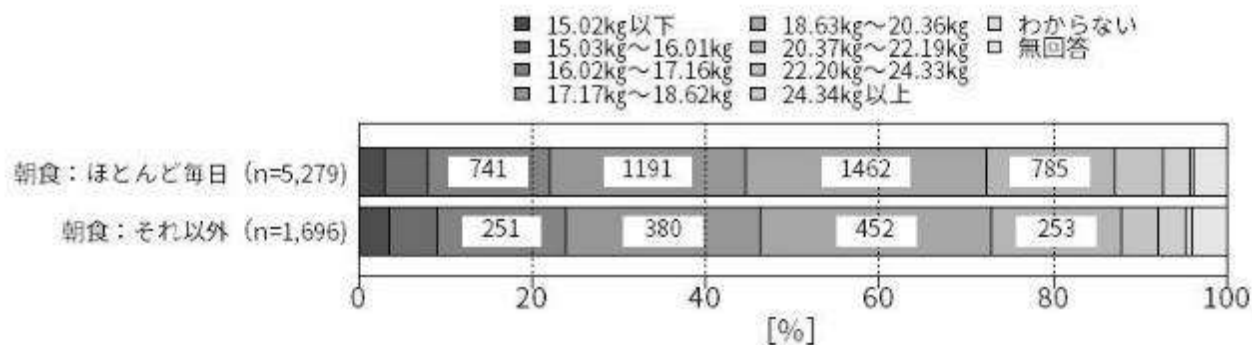


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
困窮度と現在の身長（女子）に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

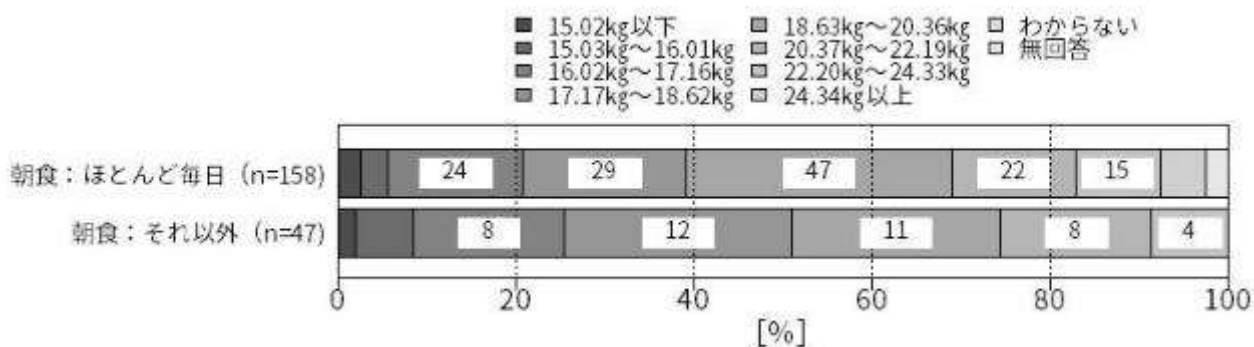
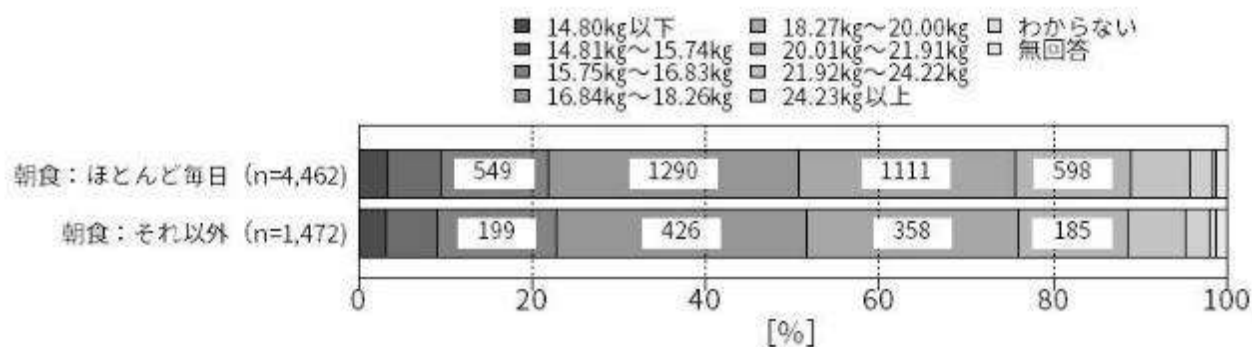


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食を毎日食べるわけではない男子は、体重が少ない割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

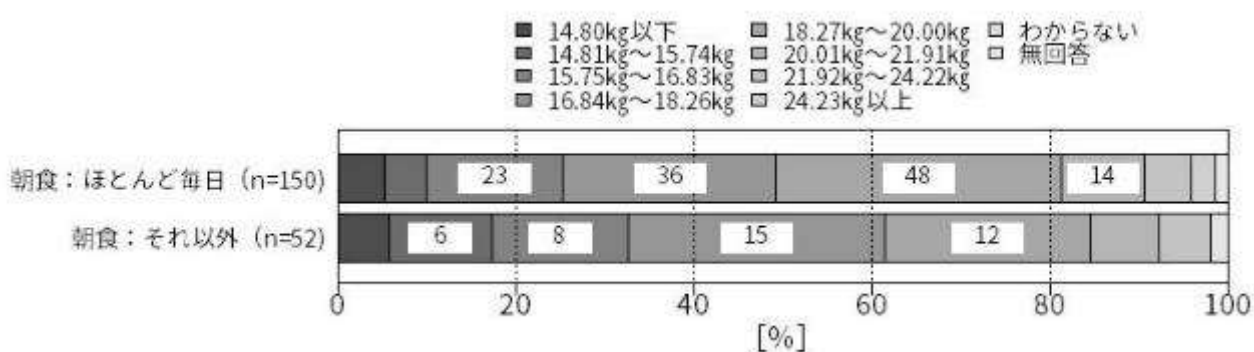
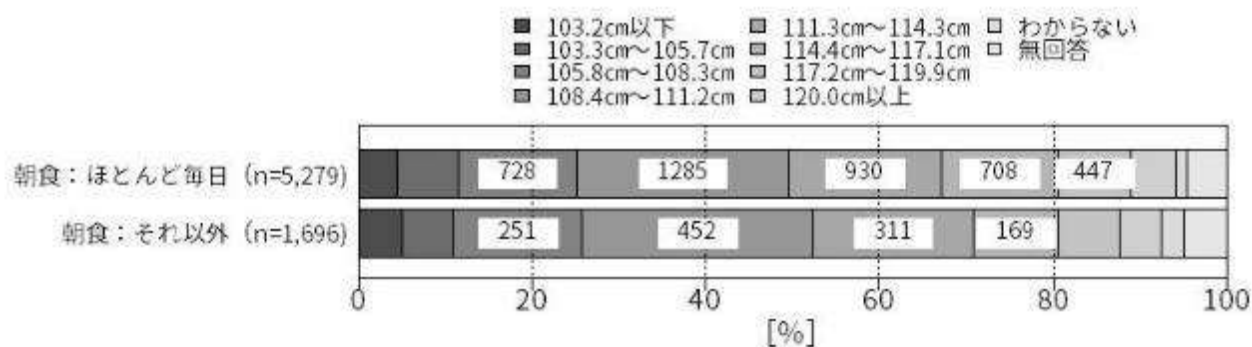


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食を毎日食べるわけではない女子は、体重が少ない割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

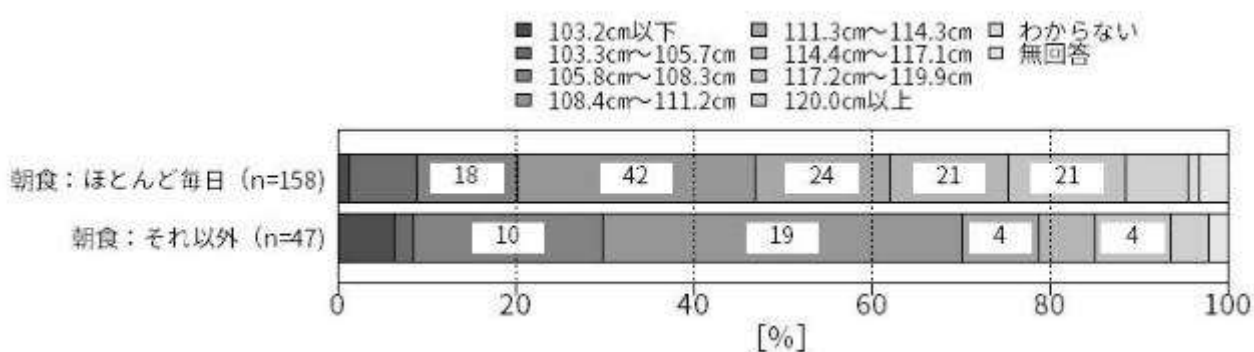
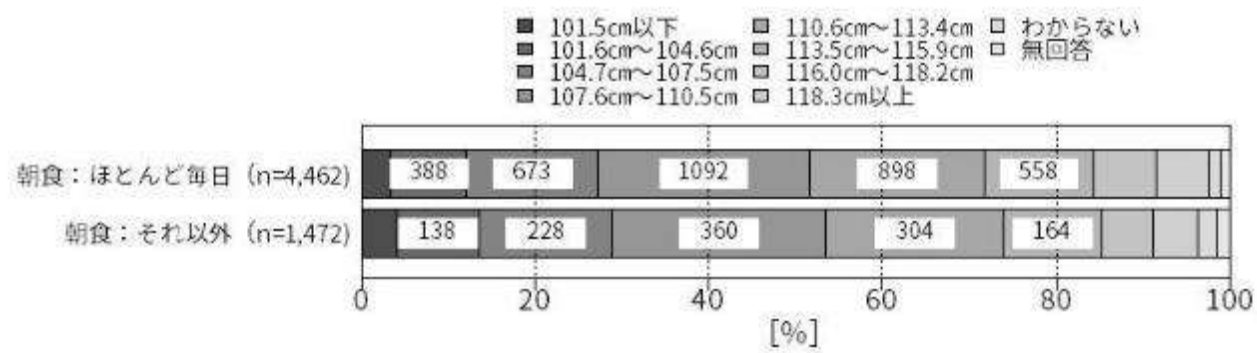


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食を毎日食べるわけではない男子は、身長が低い割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

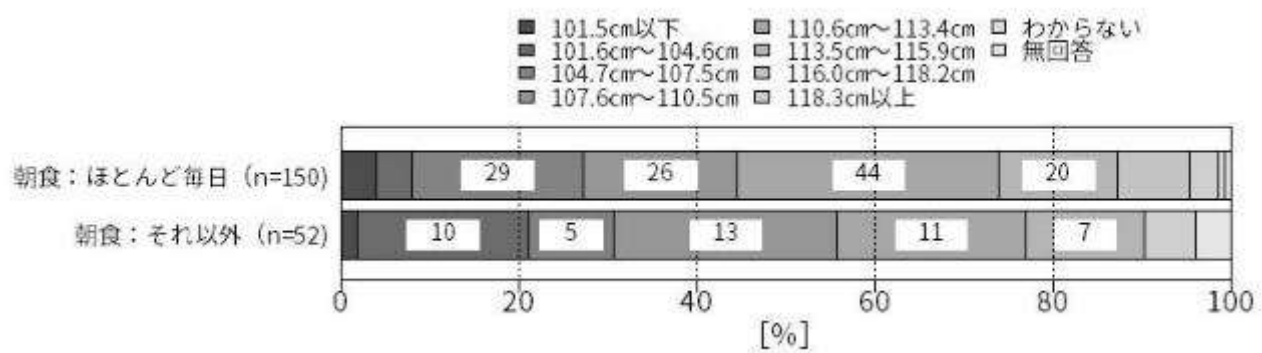
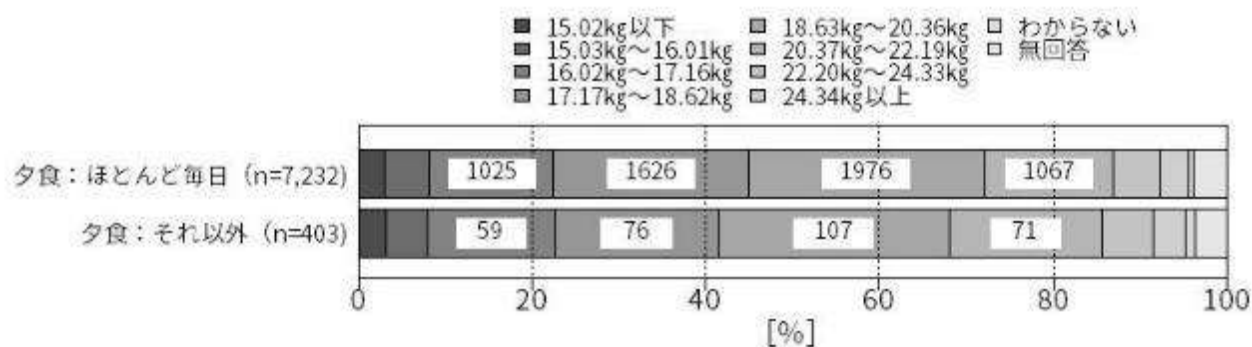


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食を毎日食べるわけではない女子は、身長が低い割合が高くなる傾向にあった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

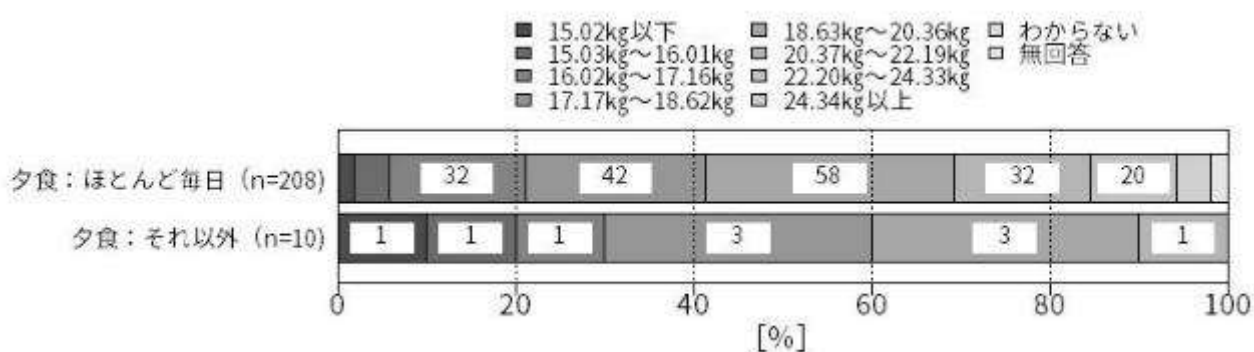
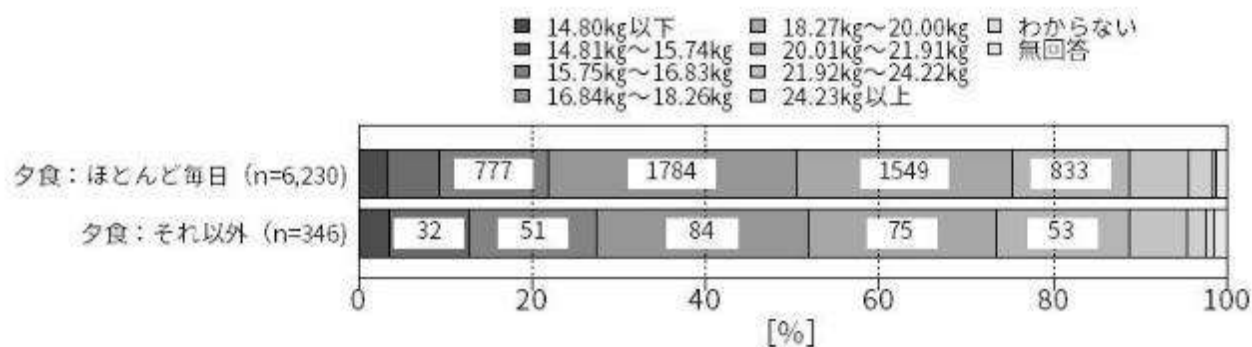


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

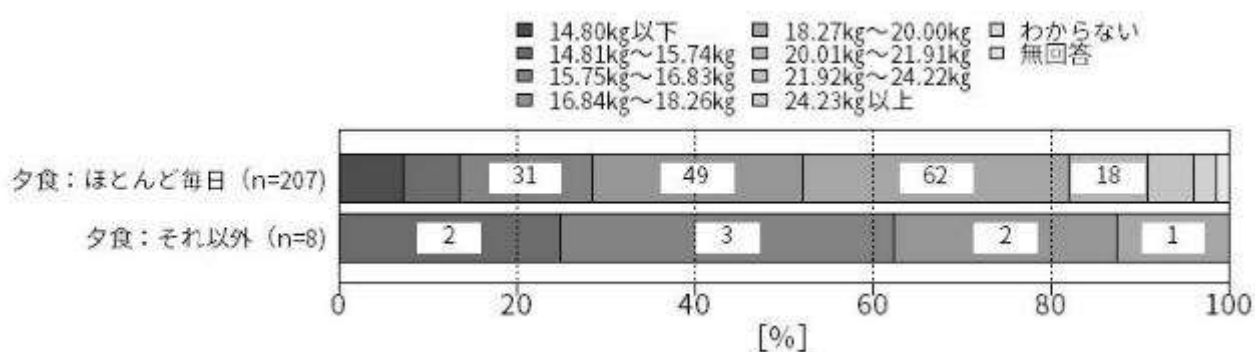
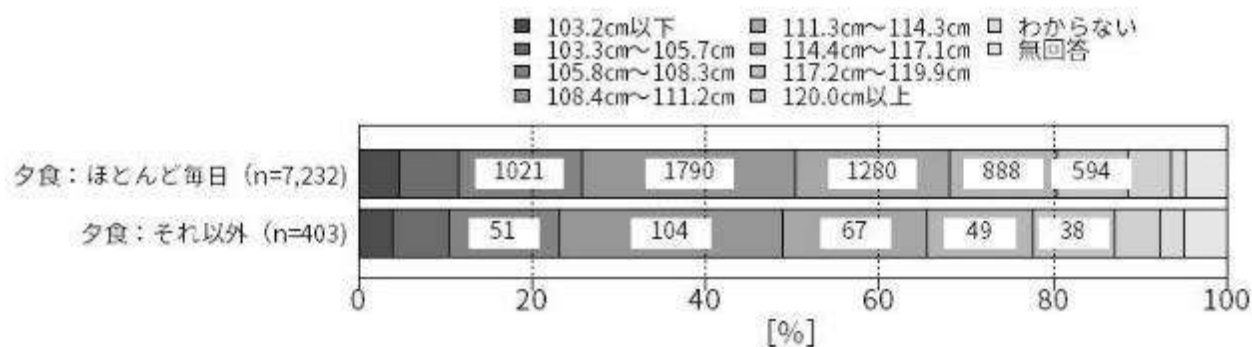


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

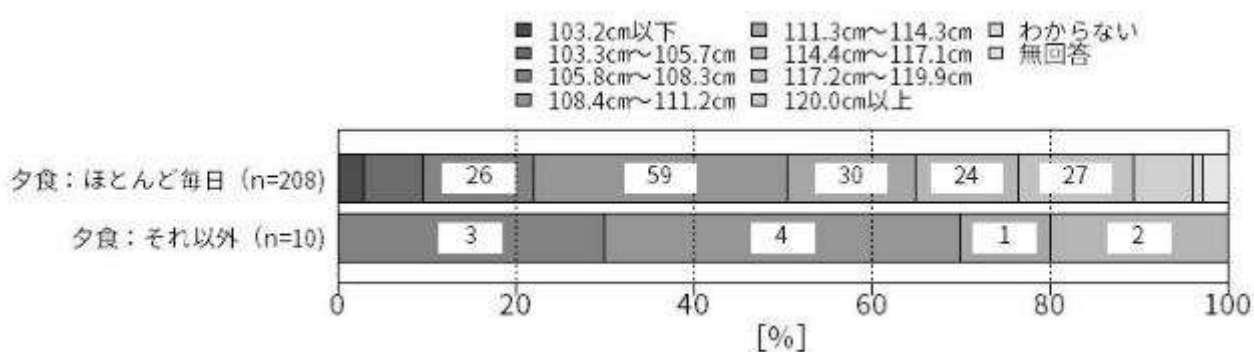
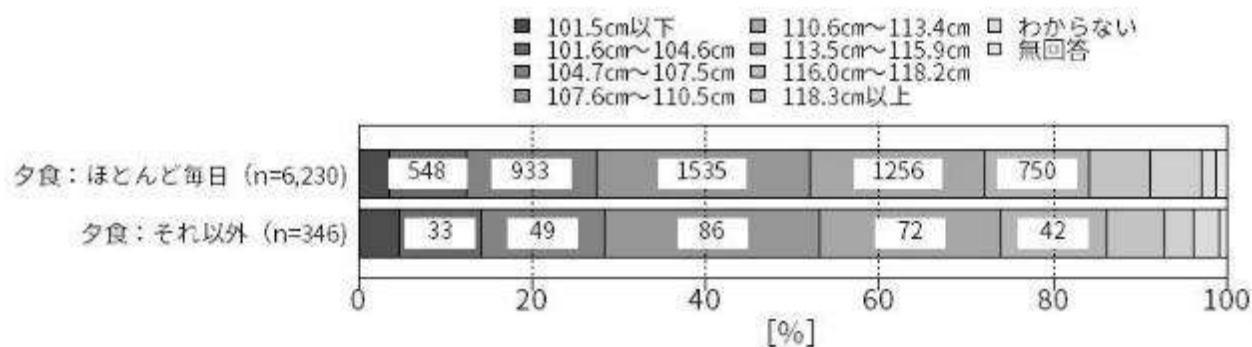


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

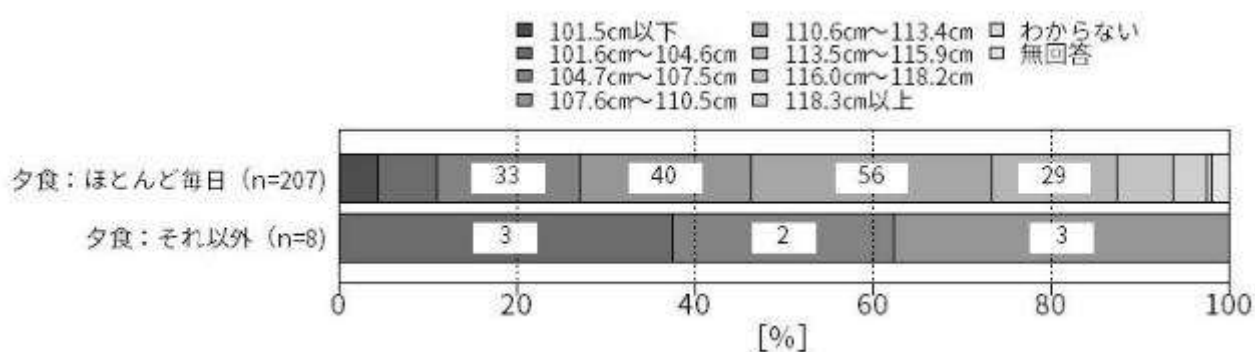
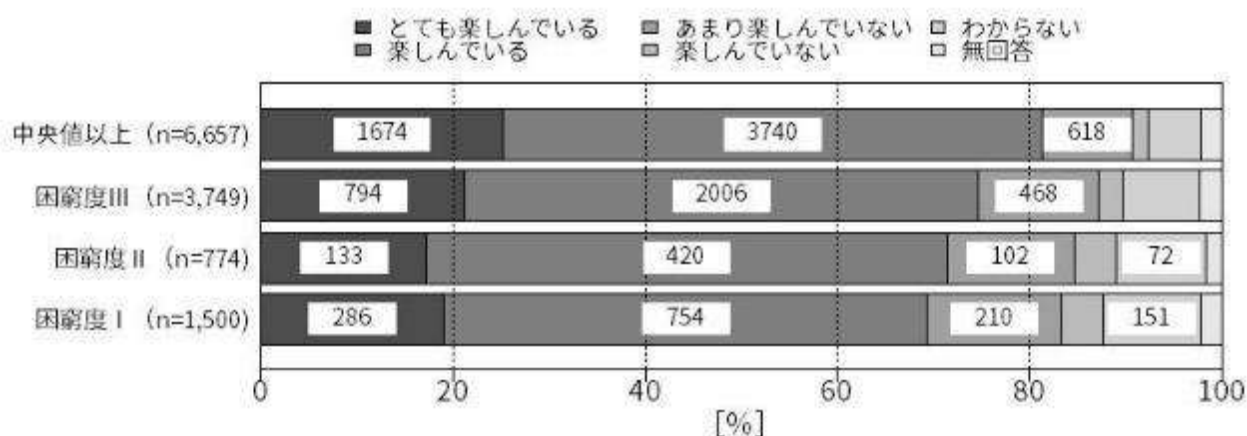


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 36-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

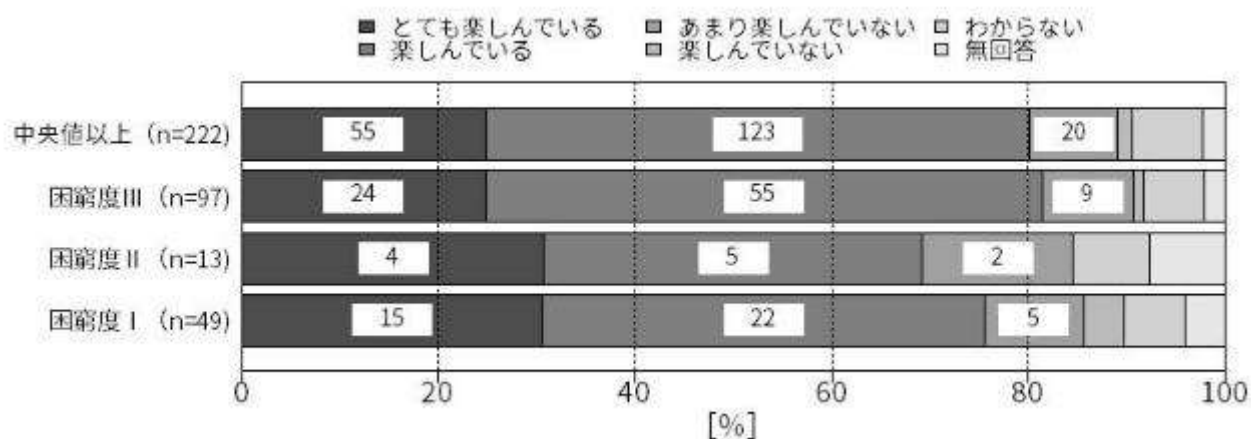


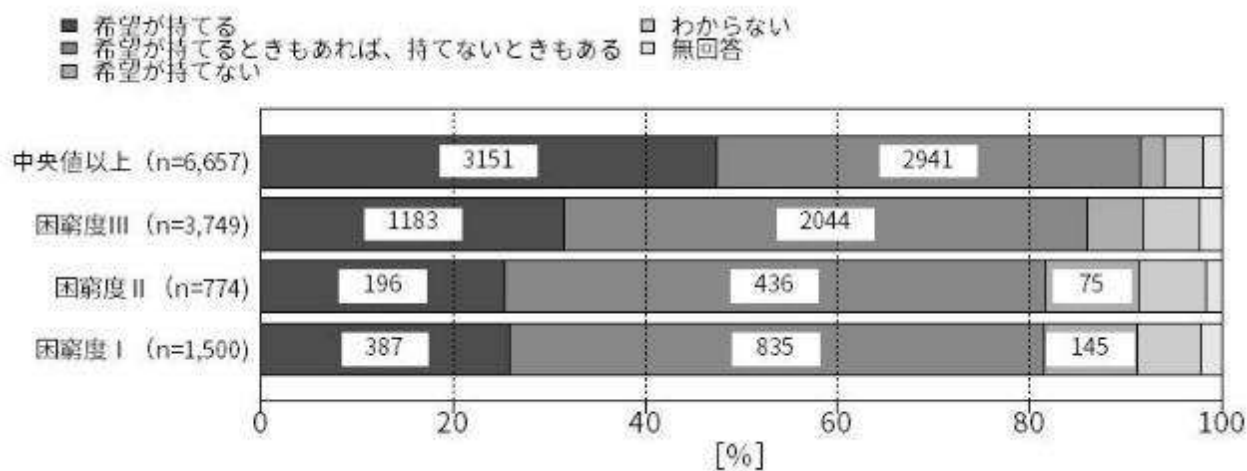
図 139. 困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 75.5%であった。

困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

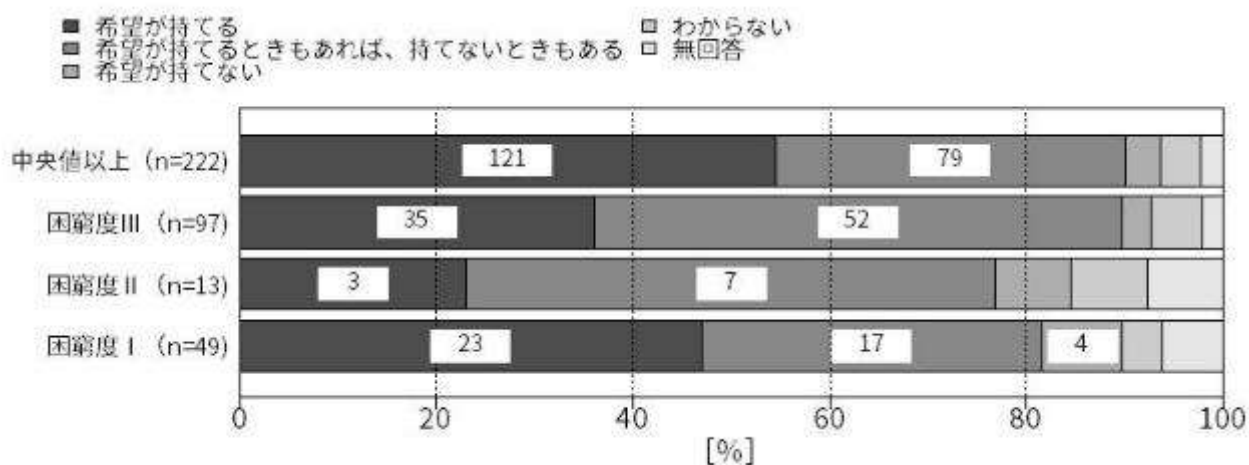


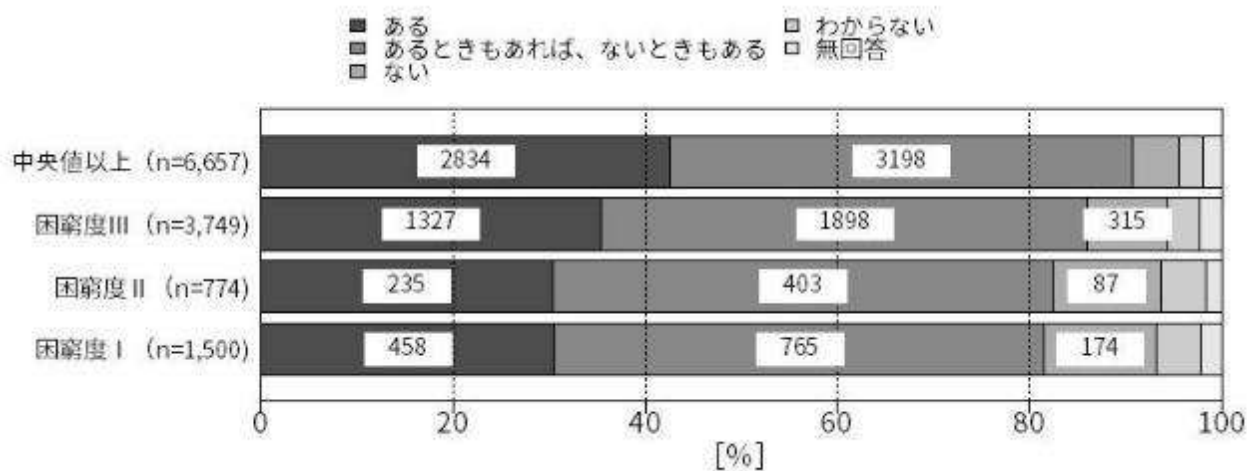
図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

中央値以上群以外では、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては46.9%であった。

困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 36-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

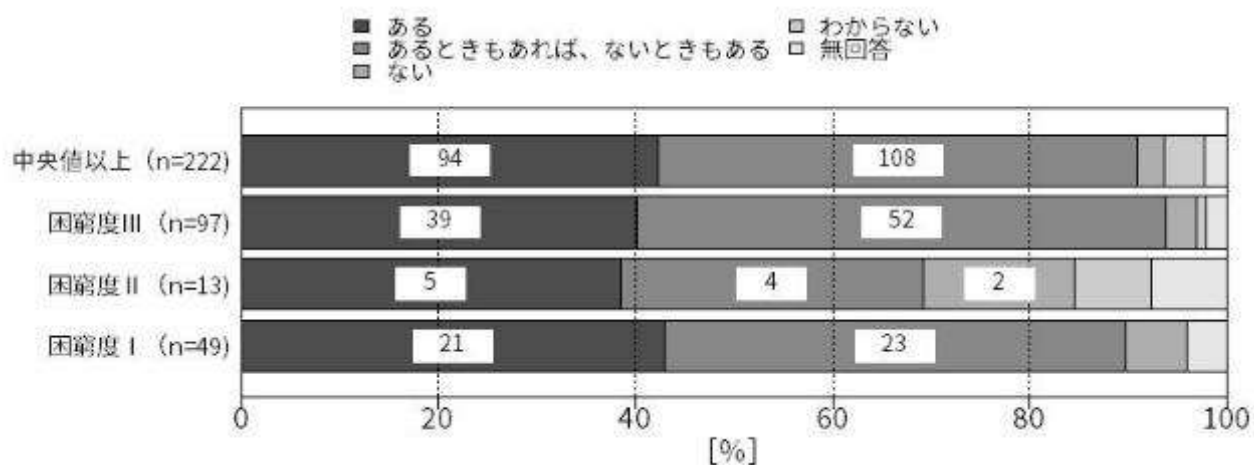
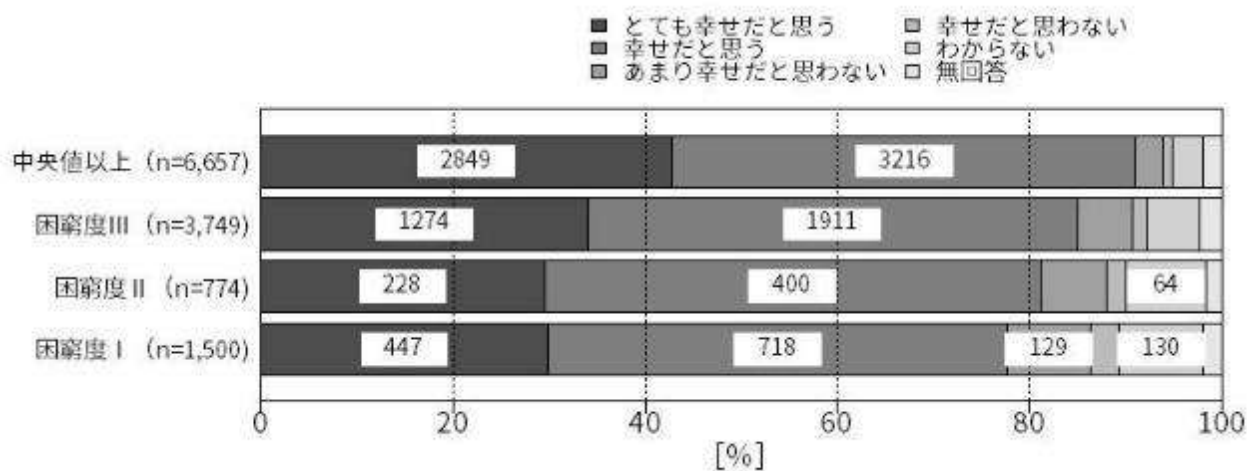


図 141. 困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
困窮度によって大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 36-4）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

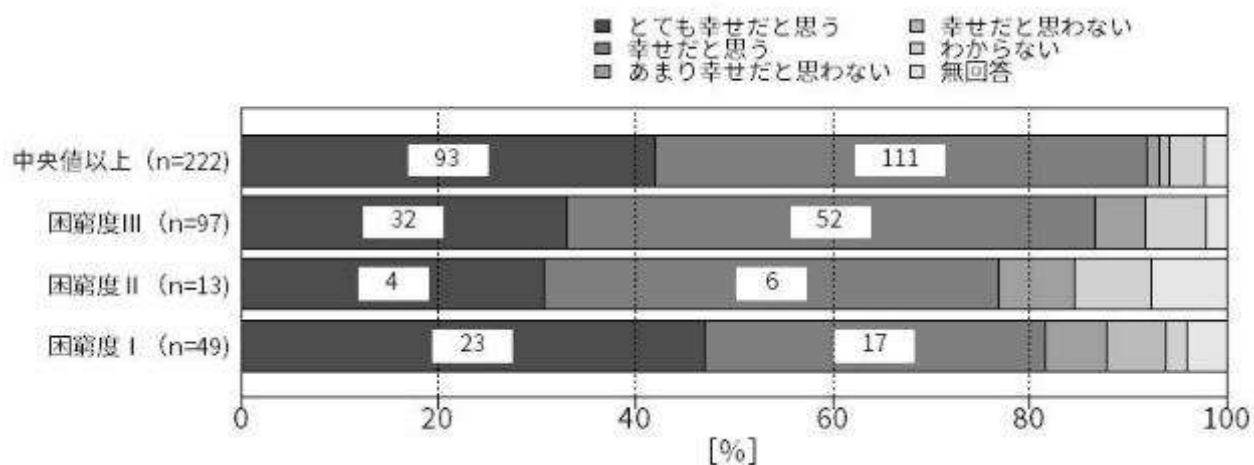


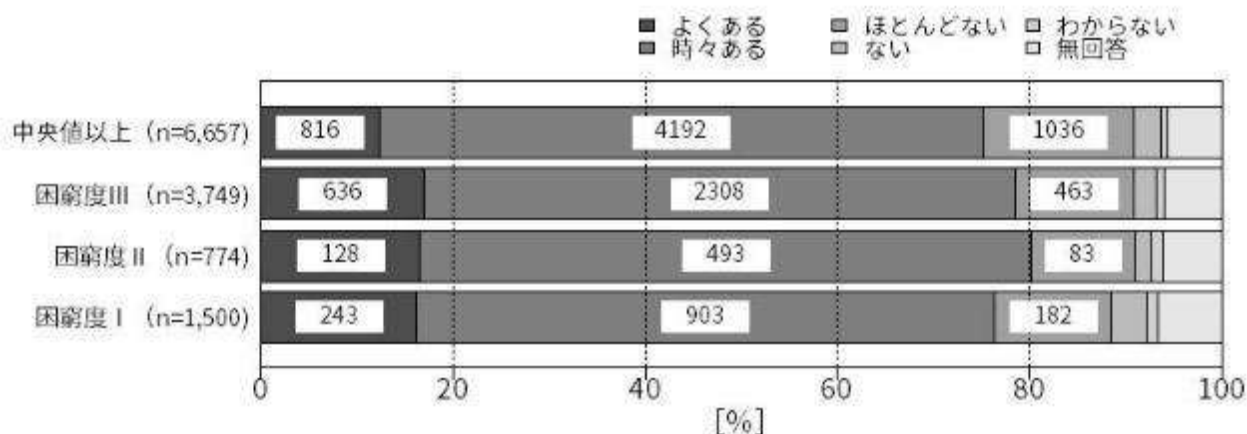
図 142. 困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

中央値以上群では、「あまり幸せだと思わない」の割合がやや高くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては6.1%であった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度（問 38）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

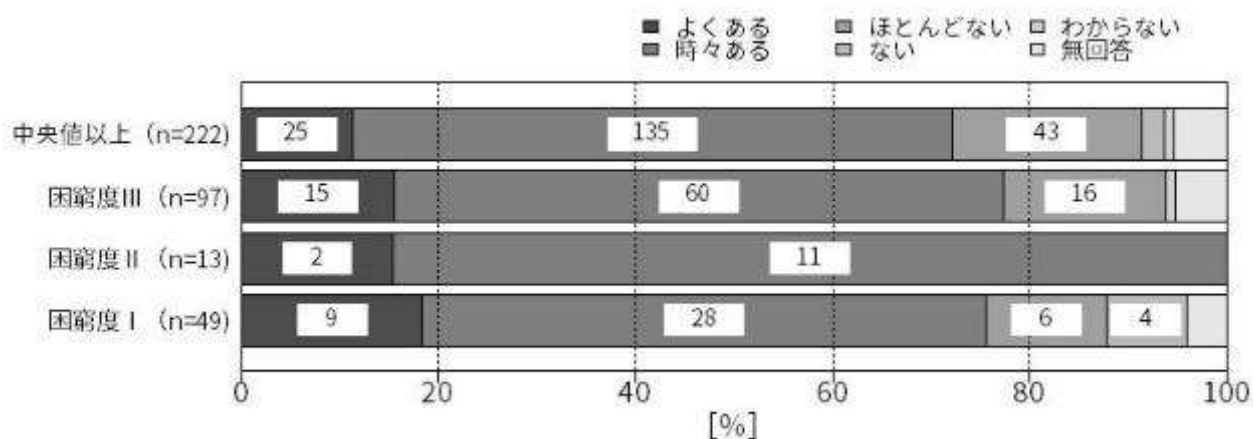


図 143. 困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度

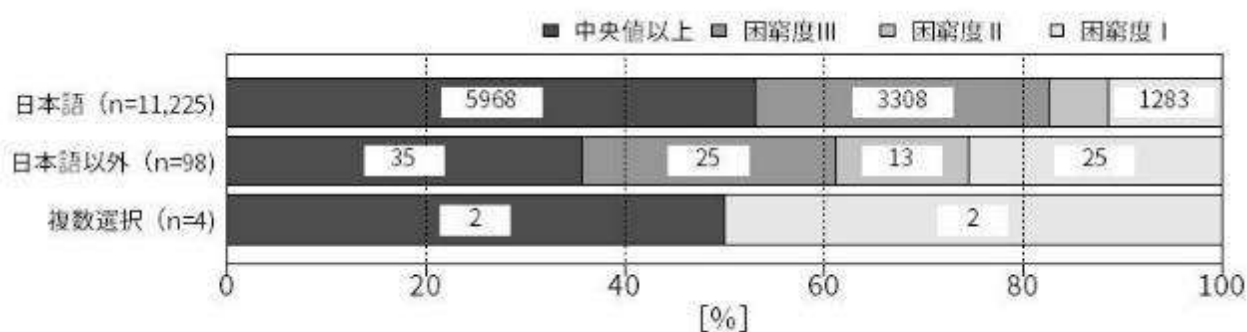
困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

中央値以上群に比べ他の群では、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した割合が高くなる傾向にあった。中央値以上群では 11.3%、困窮度Ⅰ群では 18.4%であった。

3-4. 家庭生活・学習

母国語別に見た困窮度分類（問2）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

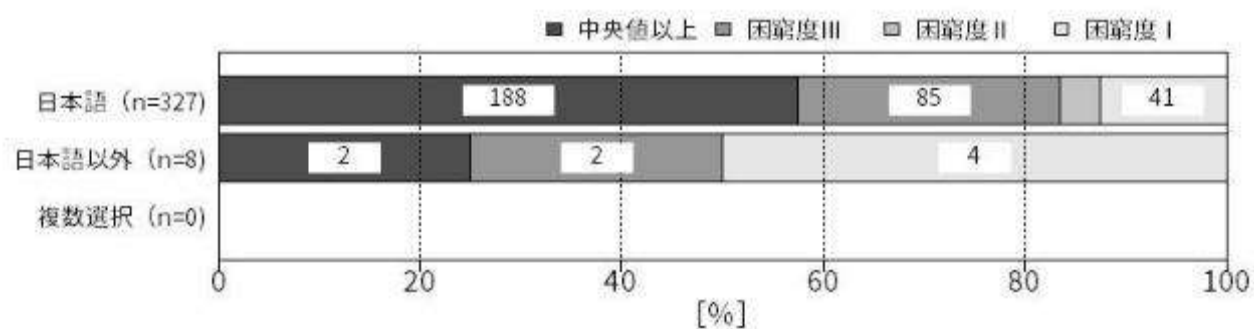
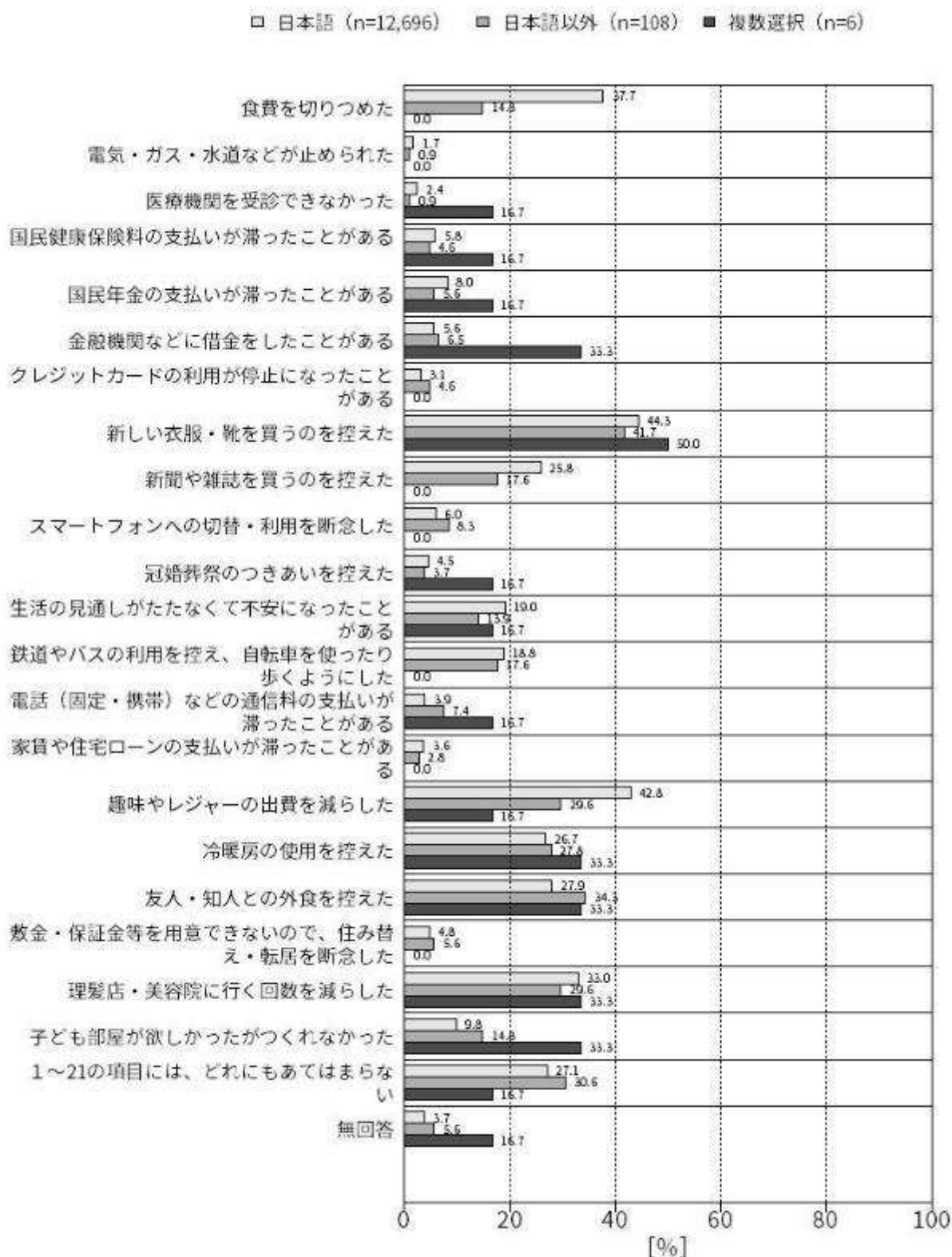


図 144. 母国語別に見た困窮度分類

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問2×問6）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

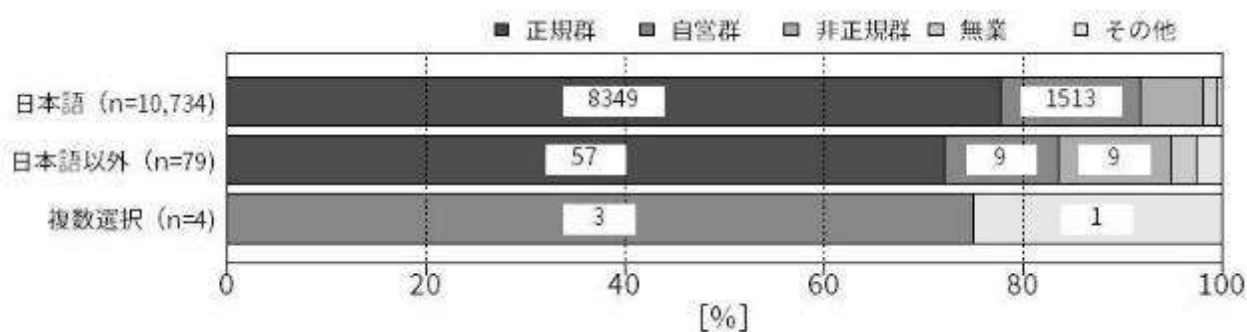


図 145. 母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。
いずれも「どれにもあてはまらない」が3割以上であった。

母国語別に見た就労状況（問2×問8）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

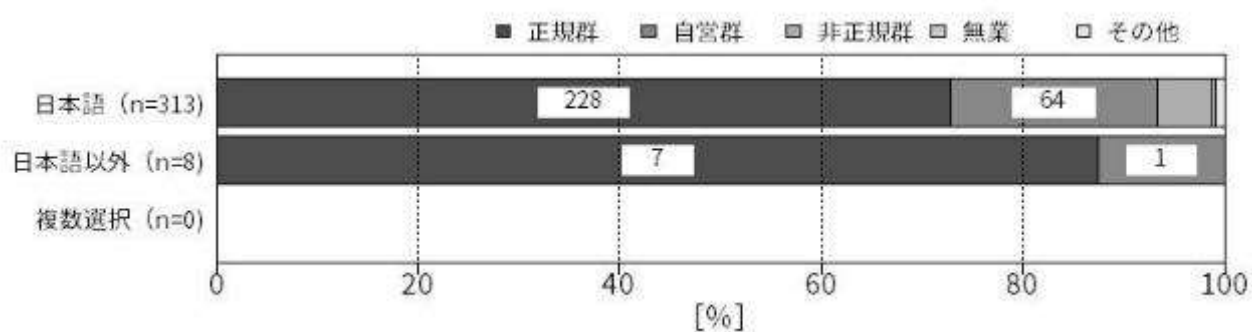
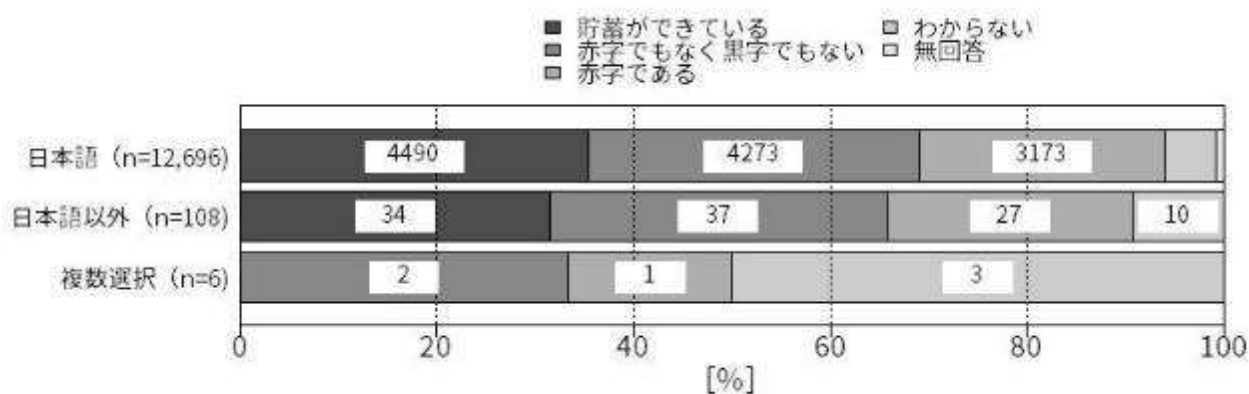


図 146. 母国語別に見た就労状況

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、家計状況（問2×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

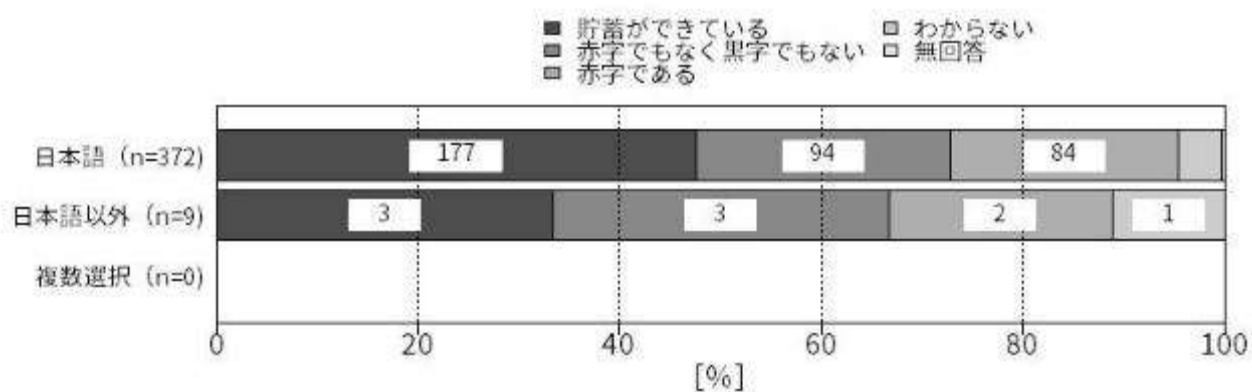
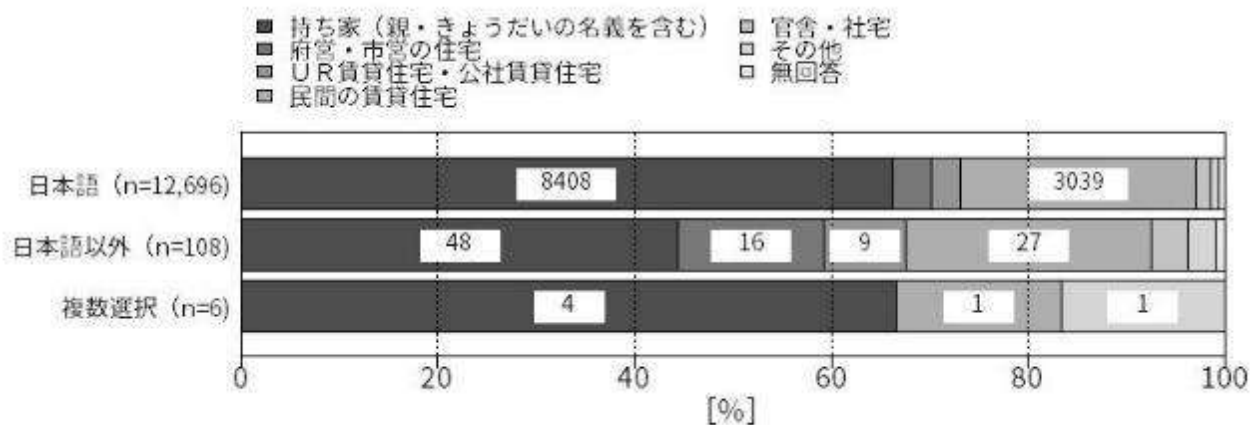


図 147. 母国語別に見た、家計状況

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、住居（問 2×問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

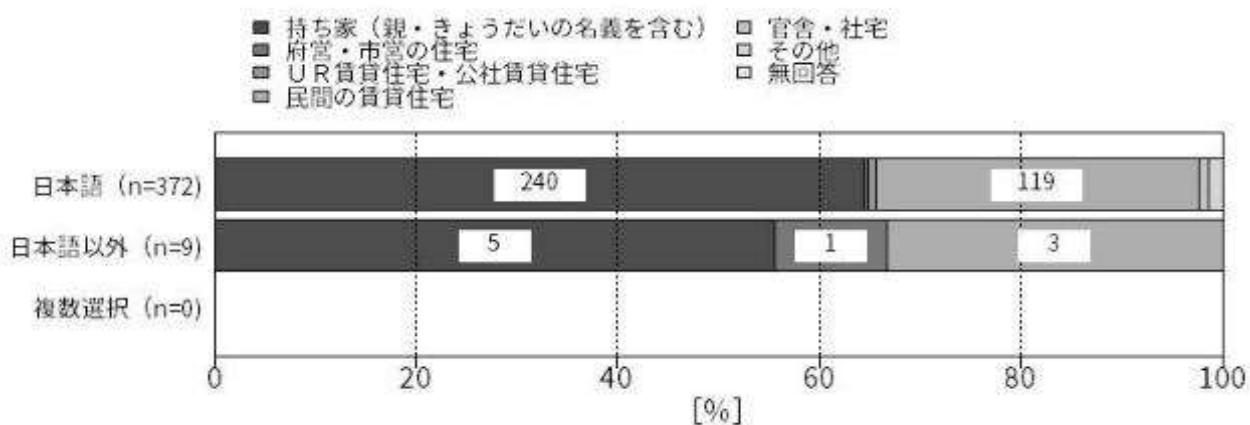


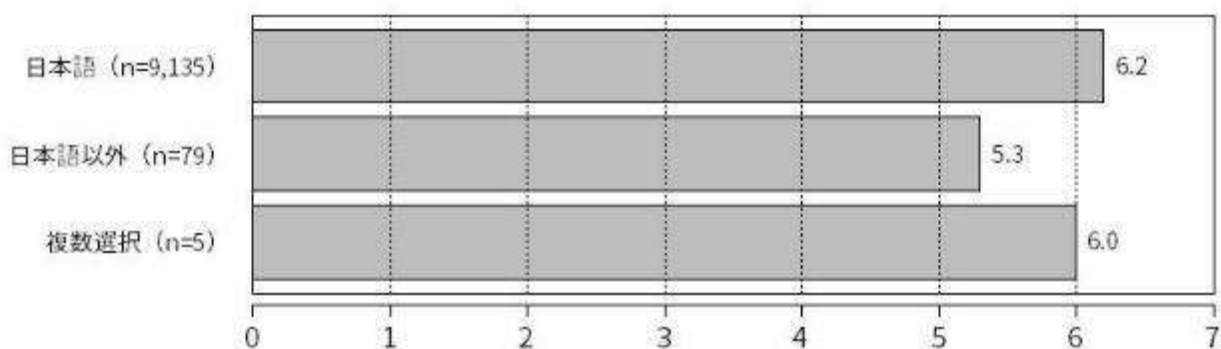
図 148. 母国語別に見た、住居

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均（問2×問34）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の7項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を0点、「いる」を1点とし、7項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

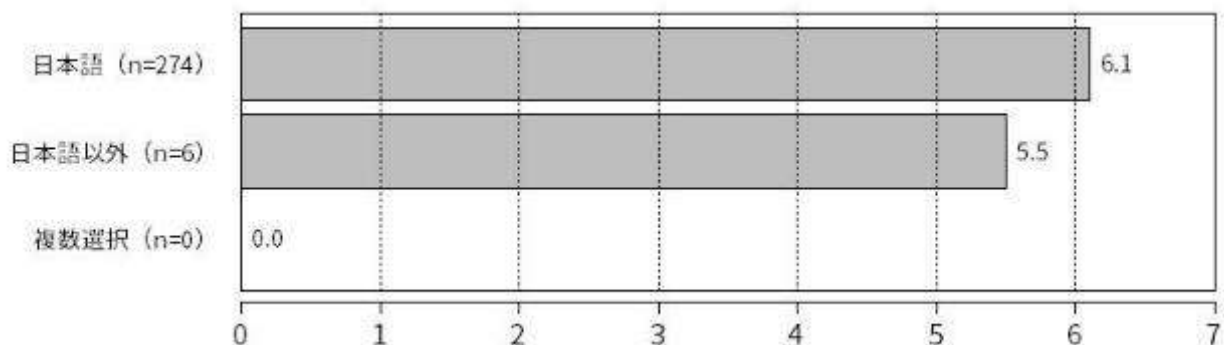
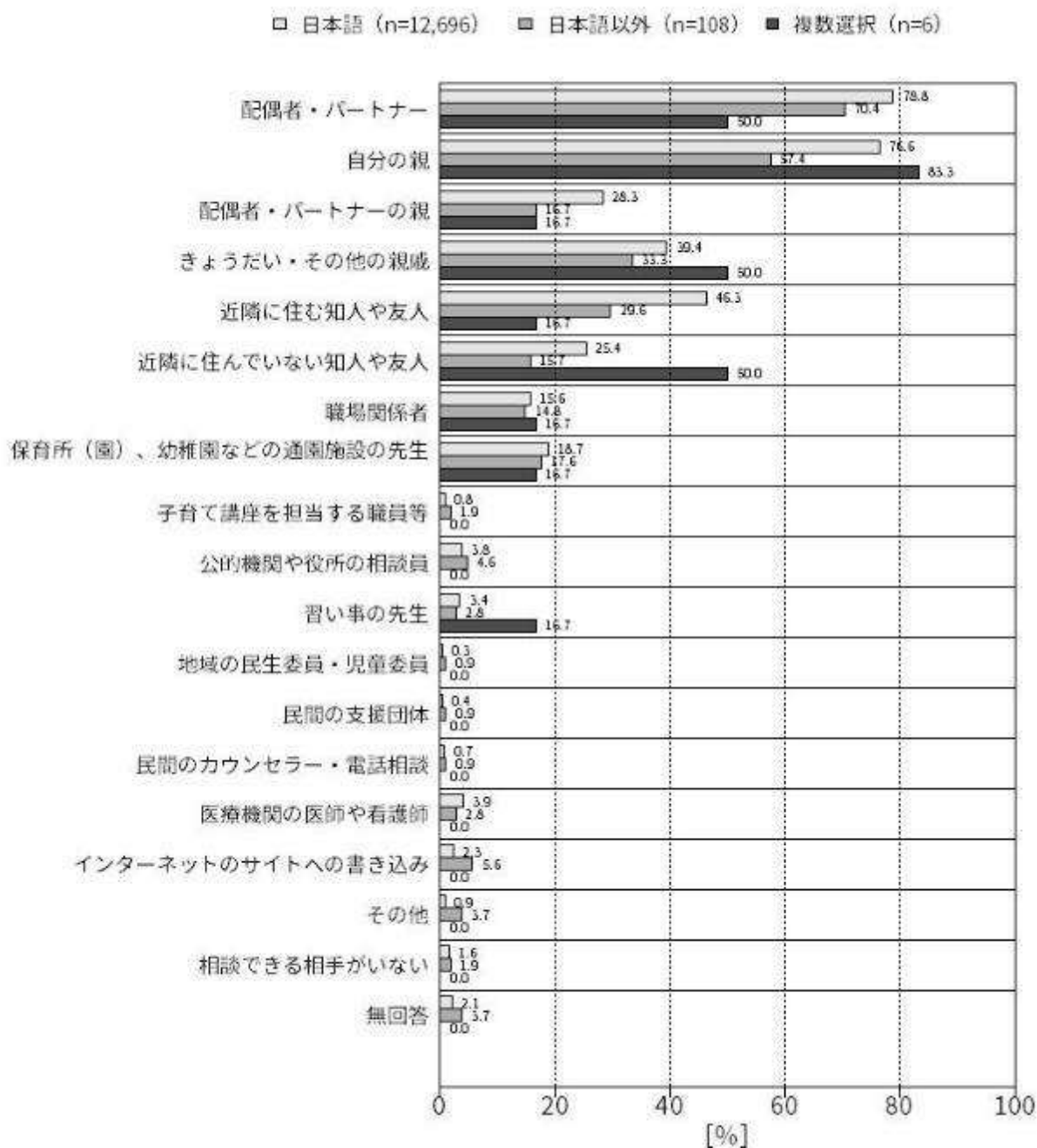


図 149. 母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、相談相手（問2×問35）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

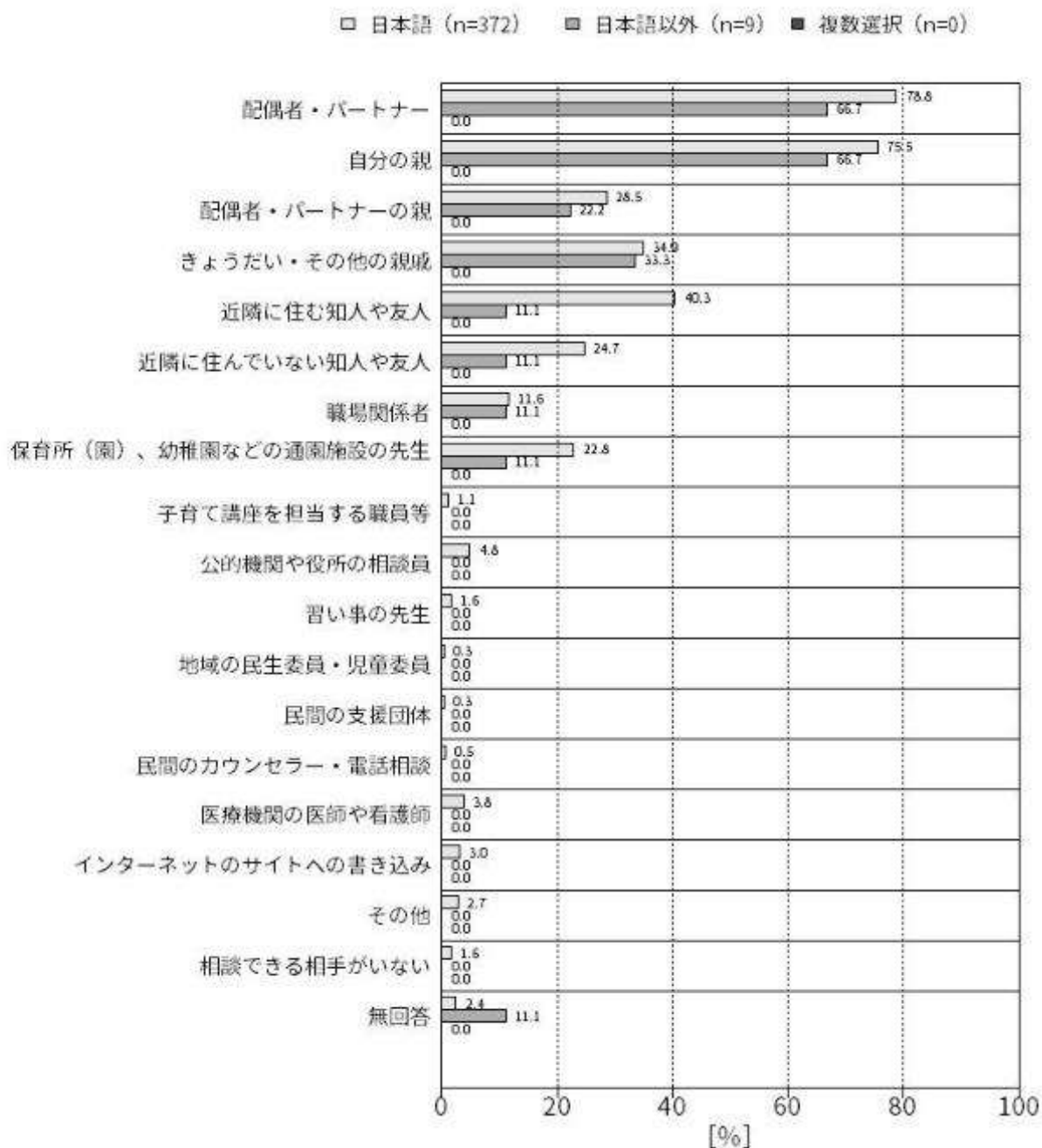
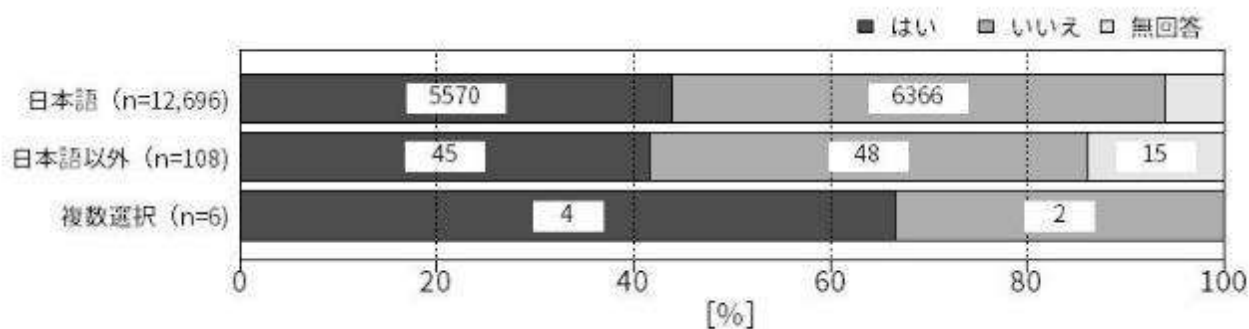


図 150. 母国語別に見た、相談相手

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無（問 2 × 問 39）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

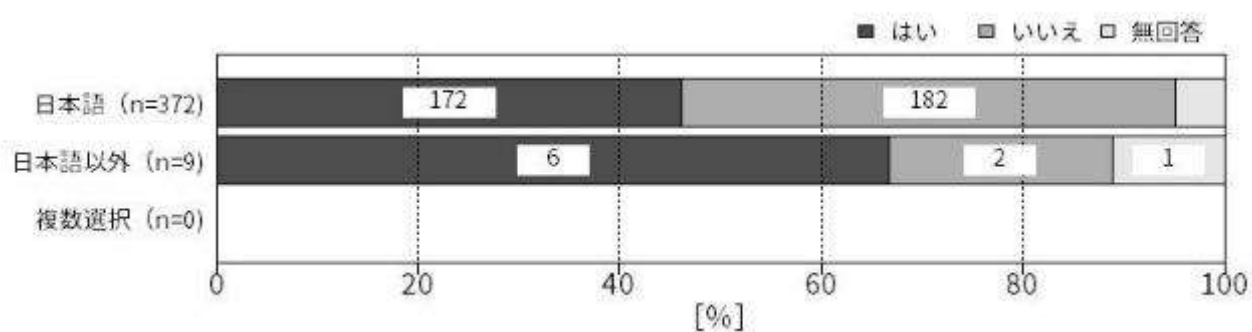


図 151. 母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無（問2×問27）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

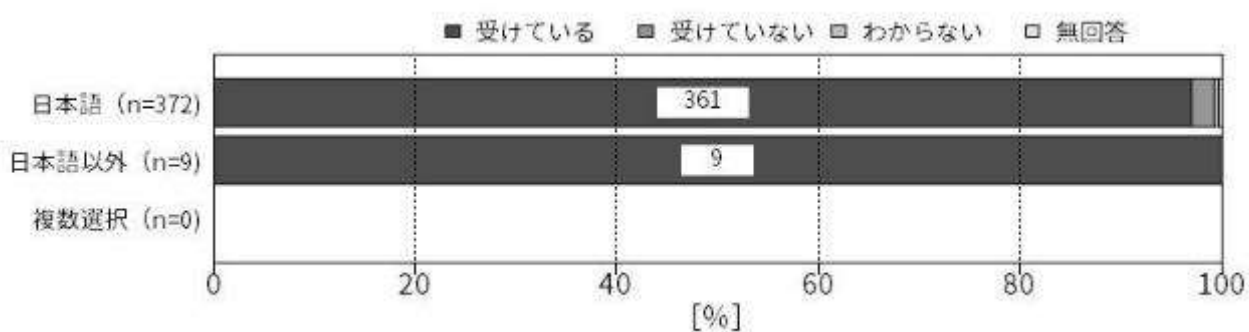
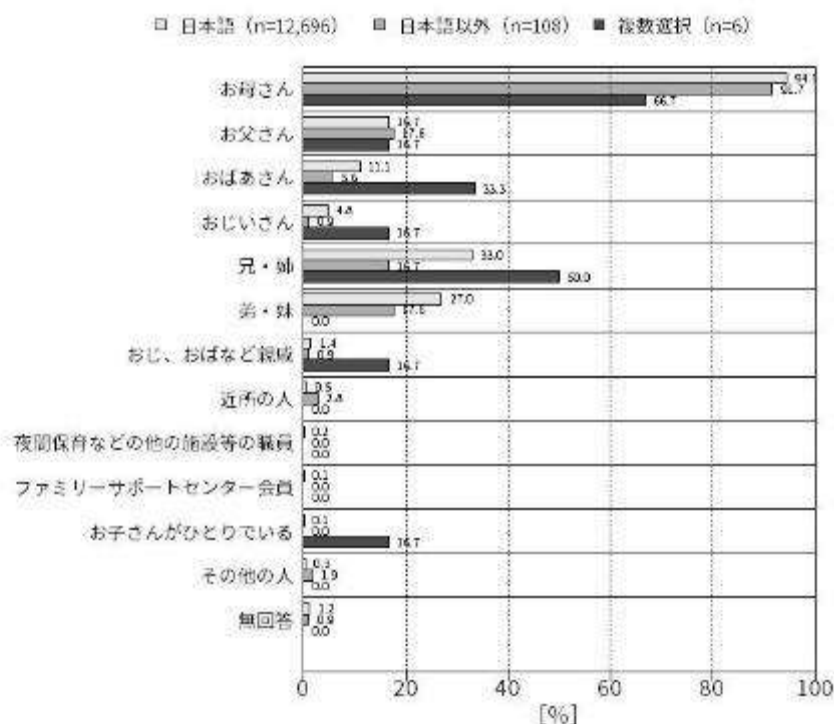


図 152. 母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできないが、日本語を母語とする世帯において「受けていない」がわずかながら見られた。

母国語別に見た、子と過ごす人（問2×問10）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

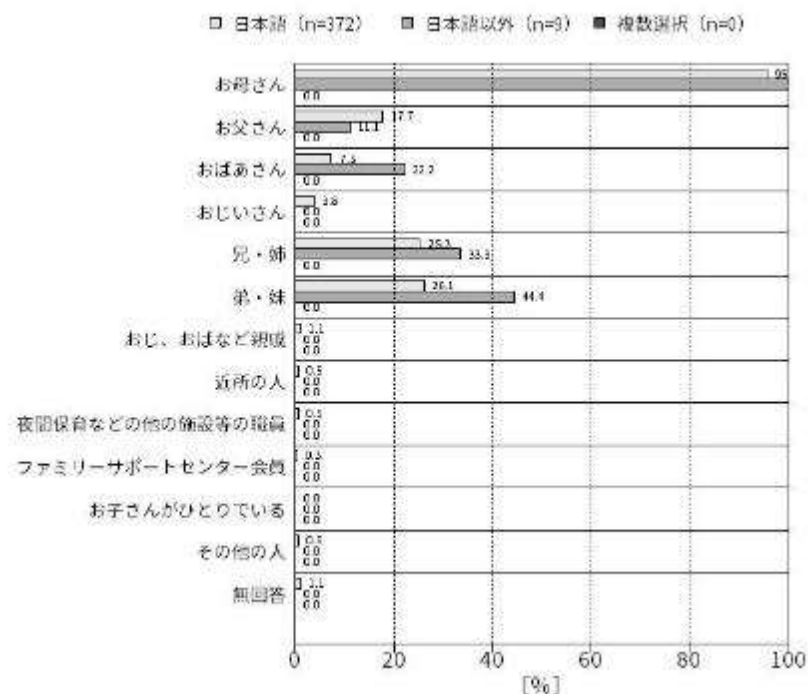
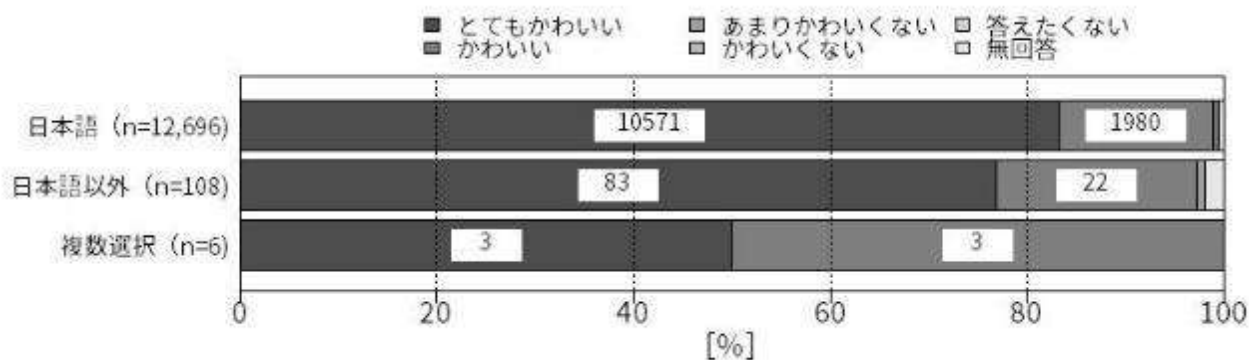


図 153. 母国語別に見た、子と過ごす人

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。いずれも「お母さん」という回答が最も多い。

母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問２×問３１-１）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

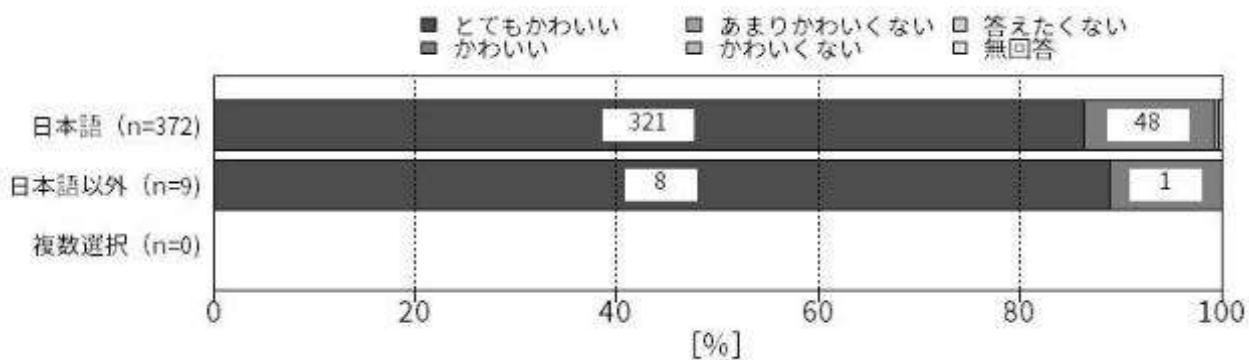
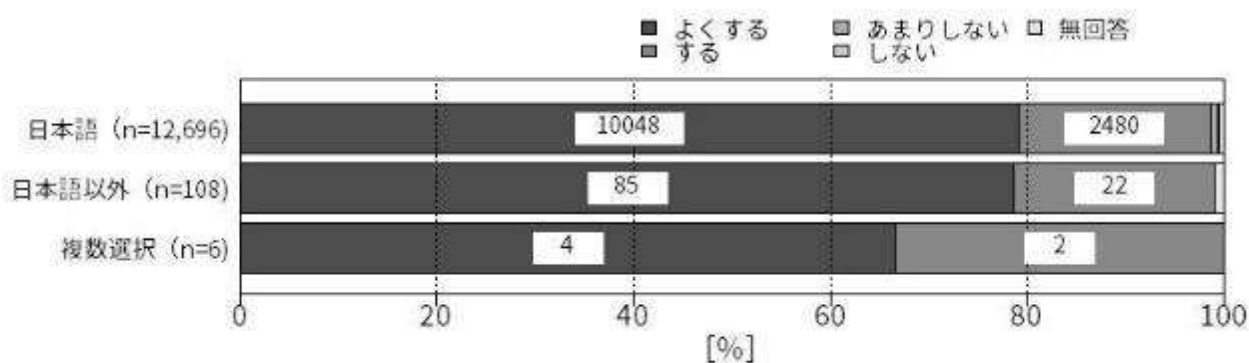


図 154. 母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。いずれも「とてもかわいい」が８割以上となっている。

母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問２×問３１-２）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

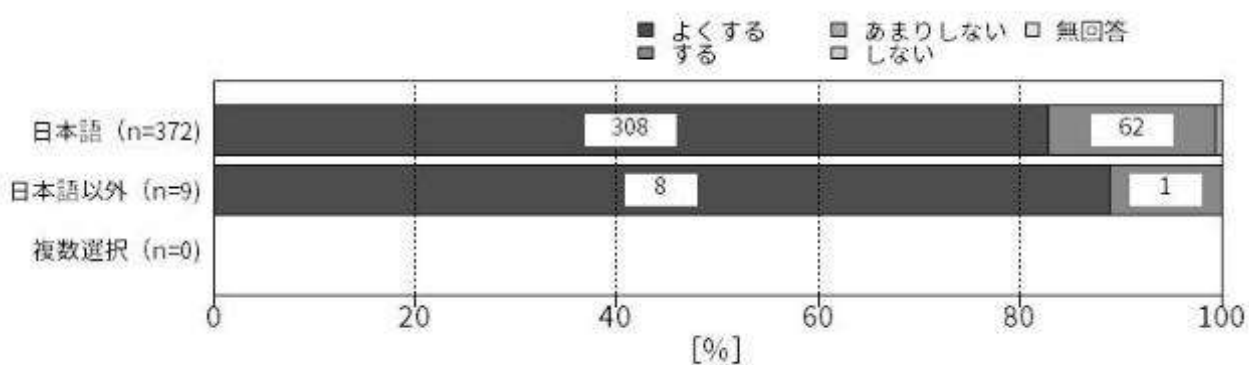


図 155. 母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話

日本語を母語としない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。